



本日は、第2680地区、公共イメージ委員会 田中正喜委員長をお迎えし、広報委員会アワーをさせていただきます。

公共イメージ委員会は、ロータリークラブの存在を一般市民に理解をいただくための活動に重点を置き、認知度の向上を目指すことを目的とするものです。

本日は、ロータリーの認知度の向上とロータリーの公共イメージ向上（活動内容をHP、SNS、メディア他から発信）についてご講義を頂きたいと思っております。

今後の龍野ロータリーのイメージ向上への方策など広告活動の一環として、取り組んでいきたいと思っております。



『ロータリーの認知度調査から 見えてくるもの』

国際ロータリー第2680地区 公共イメージ委員会
委員長 田 中 正 喜 様 (尼崎東RC)

私も含めて多くのロータリアンは、先輩から「陰徳を積む」というロータリーの美徳を教えていただけていました。一昨年2660地区で、ロータリーの認知度調査をされたデータを見て、その時から世間一般の皆様はロータリーを知っていただき、共鳴していただき、ロータリーの認知度向上し、布いては多くの人に入会していただくことが、公共イメージ委員会の役目であるということが、腹に落ちました。

ということで本日は、「ロータリークラブの認知度調査から見えてくるもの」と先日アンケートを取らせていただいたデータを表にしたものが出来上がりましたので、ご覧いただけたらと思います。

1、最初に「ロータリークラブの認知度調査から見えてくるもの」ということで、認知度調査の結果をお示しします。

(1) ロータリーに対する一般の方々の「詳細認知」は、約10%、ロゴ認知は、20%と大変低い、また将来の会員候補の若年層は、「非認知」の50%を占め、今後のロータリー活動に影響が出てくるものと思われる。

(2) ロータリークラブの認知経路は、多くは口コミ、メディアからが多く、若年層はSNSから

が多い。

- (3) ロータリーの活動内容認知は親睦、地域ボランティア、募金活動が上位を占め、ポリオ根絶については、認知度が2.6%と低い。

ということから、公共イメージ委員会の活動としては、

- (1) ロータリーの魅力ある活動を地域の一般の方の目に触れ、巻き込めるようマスメディア、ポスター、チラシ等で『見える積極的広報活動』を行う。
- (2) 若年層に向けた発信を強化するために、新たに地区公共イメージ委員会のSNS (Facebook) 作成、また、ホームページには、社会奉仕小委員会との連携した、補助金プロジェクトの事前、事後報告を掲載。
- (3) ロータリークラブの魅力を集約した『クラブ案内』(参考用) を入会者、一般の方向けに作成した。(会員維持増強委員会との連携)

2、アンケートの結果報告

- (1) 地区のホームページは、ほとんどのクラブが閲覧されており、公共イメージ委員会のコーナーも75%のクラブが御存じであるのと回答。
- (2) 自クラブのホームページは98%とほとんどのクラブが立ち上げられておりますが、SNSの活用は、40%となっている。今後の課題であります。
- (3) クラブ紹介用リーフレットを持っておられるのは41%とこれも課題である。

今後の課題も見えてきましたが、公共イメージ委員会はロータリーを知り、共鳴し、認知度を上げ、多くの人に入会していただくことが、役割であり、地区、グループ、クラブとの連携を図り、魅力発信のお手伝い役として、一緒になって発信していきたいと思っております。宜しくお願いします。